
Sadlove

海咲

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

S a d l o v e

【Nコード】

N 3 7 4 9 D

【作者名】

海咲

【あらすじ】

ある一人の少年が歌舞伎町のホストクラブに入店する。三ヶ月でNo.1になり、地元福岡に帰り独立し三店舗まで規模拡大する。しかし、

第一話

18才の春、海咲は新宿歌舞伎町のホストクラブclub 恋に入店した。その当時付き合っていた彼女ミカは海咲より先に六本木のキャバクラでアルバイトをしていた。これから2人は四年間、お互いをこれでもかというくらいに傷つけ合いながら生きていく。

第二話

入店した海咲はほとんど仕事、そして歌舞伎町の魔力にとりつかれていく。

入店してすぐに香織という大学生の女の子に知り合う。

海咲はその女の子を風俗店で働かせて売上をあげようと考えた。知り合つてすぐにその女の子の家に行った。

その子の家は吉祥寺だった。

幼稚園から高校までエスカレーター式のお嬢様学校を出て福岡から東京に上京してきたらしい。

父親は一級建築士らしくいかにも世間知らずっぽい女の子だ。

その子は意外と簡単に風俗店で働くことを了承してくれた。

それから、その女の子は風俗店で働いた後に海咲の働くclub恋に行く。

という生活を2ヶ月くらい続けることになる。

その頃でも、海咲はミカのことを本当に好きでいた。

仕事とはいえ、海咲とミカはいつも海咲の女関係で喧嘩をしていた。ミカとの関係がぎくしゃくする一方で海咲の売上はどんどん伸び、入店三ヶ月でNo.1になる。

しかし、ある日突然、香織と音信不通になる。

理由は、香織の様子がおかしいと思つた母親が福岡から東京の香織に会いに来てたからだ。

その上、香織が風俗店で働いてることもホストクラブに通いつめることも知り、香織を福岡に連れて帰つたのだ。

その後、弁護士から連絡が入りこれ以上香織に連絡するようなことをすれば風俗店への斡旋で刑事告発するという。

さすがに海咲はお手上げた。

しかし、No.1の海咲はどうなかって売上を維持しなければならなないと思ひ悩む。そして、海咲の考えたことは彼女であるミカを風

俗店で働かせて売上を維持しようというものだった。その時は、ミカに対する愛情より売上の方が大切だった。普通の世界で生きる人には到底いかいできないことだ。そして、すぐにミカに風俗店で働いてくれと頼むため六本木で待ち合わせをする。

第三話

海咲とミカは六本木のアマンドという喫茶店で話し始めた。先に口を開いたのは海咲の方だった。

（お前と付き合ってるのが客にばれて、その客が切れた。今月上げがやばいから、客がつかなくなるまで風俗行ってくれないか？）ミカ（そう言われてま）海咲（とりあえず2ヶ月だけ時間くれ）ミカ（少し考えさせて）その後、夕食を食べに行ったが些細なことで喧嘩になりお互い家に帰った。次の日ミカから連絡があり、2ヶ月だけという条件で働いてくることになった。早速、海咲は知り合いのスカウトマンに電話をして、店を紹介してもらうことになった。面接もうまくいき週末から働くことになった。夜スカウトマンから（女の子泣いてたぞ（笑）大丈夫か？ちゃんとフォローしとけよ。）と電話があった。海咲は笑いながら（余裕っすよ）と軽く流した。このことが、海咲とミカにとって最後まで埋められない溝をつくることになるうとは想像もつかなかった。その夜ミカから電話があった。（海咲は私が他の男に体触られて嫌じゃないの？）海咲（しょうがないやろ、2ヶ月やから我慢してや）海咲はこの一言だけ言って電話をきった。これから先、四年間に渡ってミカは海咲のなかで客、彼女、客、彼女と気持ちの葛藤が続くことになる。そして、海咲はいつしかこのホスト業界で成り上がり自分の店を持ちたいという夢に向かって突進を始める。電話をきったあといつものように携帯で150件ほど、営業メールをして寝た。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3749d/>

Sadlove

2010年12月15日03時01分発行